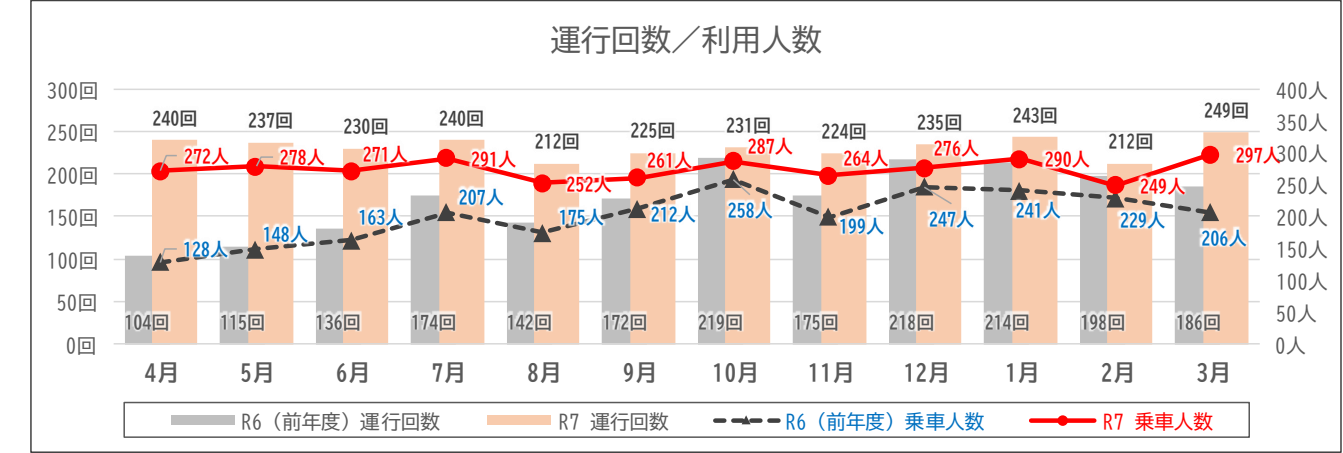


令和7年度乗合タクシー及び妙見口のせ号の利用実績について

■乗合タクシー利用状況

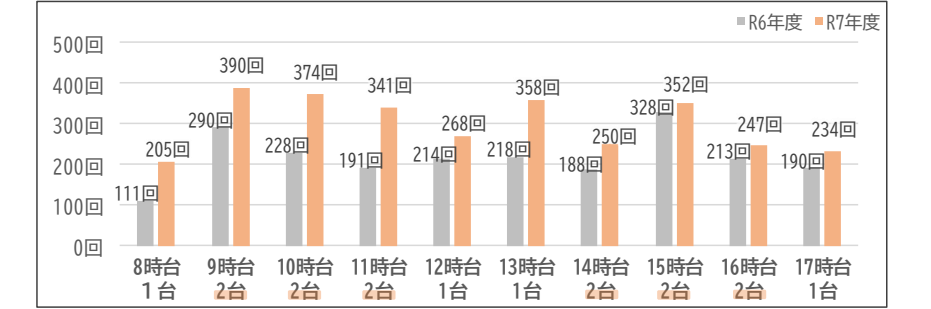
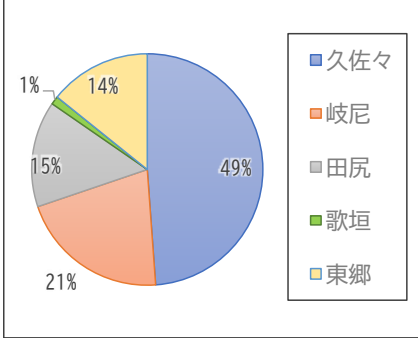
①利用実績と目標値の達成状況

項目	合計 (4~3月)	月平均	【前年度実績】			
			目標値	達成率	(R6年度)	月平均
運行回数 (A)	2,778回	232回	—	—	2,053回	171回
乗合回数	219回	18回	—	—	113回	9回
乗車人数 (B)	3,288人	274人	—	—	2,413人	201人
1便当たり利用者数 (B/A)	1.18人	—	1.50人	78.7%	1.18人	—
運行日当たり利用者数 (B/D)	13.59人	—	25.00人	54.4%	10.01人	—
実利用人数	147人	—	100人	147.0%	108人	—
新規利用人数	65人	5人	—	—	66人	6人
運行対象日数 (C)	242日	—	—	—	243日	—
実運行日数 (D)	242日	20日	—	—	241日	20日
稼働率 (D/C)	100.0%	—	100.0%	100.0%	99.2%	—
運賃収入 (現金)	337,700円	28,142円	—	—	277,800円	23,150円
運賃収入 (回数券)	492,300円	41,025円	—	—	331,020円	27,585円
収支率	5.70%	—	—	—	3.80%	—



②地区別の利用者数

地区名	利用者数	
	R7年度	(昨対比)
久佐々地区	1,606人	222人
岐尼地区	689人	229人
田尻地区	487人	201人
歌垣地区	38人	-25人
東郷地区	468人	248人
計	3,288人	875人

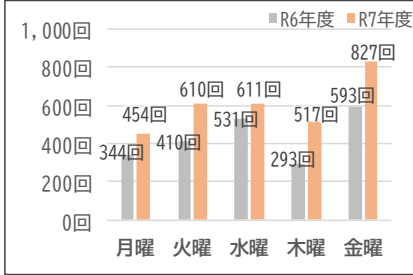


※複数乗車により運行回数 (A) と一致しない
※下部に記載の台数は、時間帯毎の運行台数

③主な利用目的

利用目的	回数	
	R7年度	(昨対比)
公共施設	123回	58回
生活関連施設	879回	192回
医療機関	287回	116回
乗り継ぎ	675回	118回
計	1,964回	484回

■曜日別利用状況

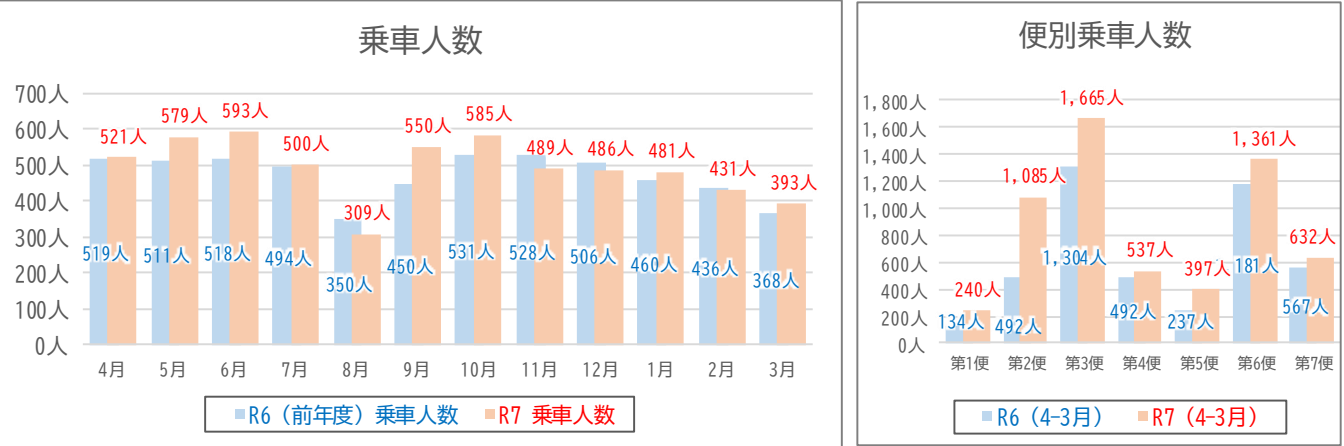


※複数乗車により運行回数 (A) と一致しない

■妙見口のせ号利用状況

①乗車人数

①乗車人数		(運行対象日数：242日)						
		乗車人数 (4月～3月)				1日当りの 平均乗者人数	1日当りの 最大乗車人数	乗車がなかった日数
			現金	定期	回数券			
第1便	6:13発	240人	17人	216人	7人	1.0人	3人	25日
第2便	6:55発	1,085人	540人	437人	108人	4.5人	9人	
第3便	7:55発	1,665人	304人	1,265人	96人	6.9人	13人	6日
第4便	12:43発	537人	323人	141人	73人	2.2人	9人	40日
第5便	13:25発	397人	312人	62人	23人	1.6人	6人	46日
第6便	17:00発	1,361人	365人	748人	248人	5.6人	10人	
第7便	18:00発	632人	235人	353人	44人	2.6人	6人	19日
計		5,917人	2,096人 (35.4%)	3,222人 (54.5%)	599人 (10.1%)	24.4人 (目標値:26人)	(10人以上利用) 42日	136日



②収入額

※定期券は利用月数で按分して計上

※回数券は使用実績から還元率（係数0.9）を乗じて計上

区分	種別	収入
現金		833,950円
定期	通勤	395,196円
	通学	862,000円
回数券		222,390円
計		2,313,536円
収支率		25.24%

【直近の定期利用者】

能勢分校関係	通勤	1人
	通学	8人
通勤（町民）		2人
通学（町民）		1人

令和7年度(4月～3月)の運行実績について(まとめ)

▶乗合タクシー

- ・目標値には至っていないが運行回数、乗車人数共に昨年度の月平均と比較して大幅に増加。（運行回数：171回→232回、乗車人数：201人→274人）
- ・しかし、1便当たりの利用者数横ばいであり、乗合利用の促進が今後の課題。（R6：1.18人→R7：1.18人）

▶妙見口のせ号

- ・目標値である1日当たり平均利用人数26人については、24.4人となり、達成率は93.8%であった。
- ・便別の利用状況については、第1便は1日当りの平均乗車人数が1.0人と依然として少ない状況である。
- ・第2便については、1日当りの平均乗車人数が前年度2.7人に対して、4.5人に増加。新たな定期利用者（通勤1名、通学1名）及び現金利用者が主な要因と考えられる。
- ・第4便及び第5便については、最大乗車人数が定員に達する日もありながら、乗車がない日数も多く、利用にばらつきが見られる。

- ▶ 今後も利用状況をモニタリングし、運行内容の改善等について検討を進めていく。